

普及活動情勢報告（平成 30 年 7 月分）

安芸農業振興センター

自分たちの住む町の農業を知ろう！ ～吉良川町でピーマン収穫体験を開催～



熱心に説明を聞く児童

6月18日、消費拡大連絡協議会芸東支部が主体となり、吉良川小学校の全校児童61人を対象に室戸市吉良川町のピーマンほ場で収穫体験を開催しました。

農業改良普及課室戸支所は、室戸市の特産物であるナスやピーマン等の生産量や栽培面積、栽培方法や環境保全型農業の取組について説明しました。

児童からは「室戸でナスやピーマンがそんなにいっぱい作られてるんや！」といった驚きの声が聞かれ、地元の農業への関心を高めることができました。

農業改良普及課室戸支所は、今後も地元農産物の消費拡大に向けた活動を支援します。

東洋町野根の5年後、10年後は？ ～中村中島保全会集落営農勉強会～



熱心に説明を聞く生産者

6月27日、東洋町野根の中村中島保全会がJA土佐あき芸東営農センター東洋事務所で集落営農勉強会を開催し、生産者14人が出席しました。

農業改良普及課は、集落営農の取り組みの説明や他地区での事例紹介、集落営農塾への参加呼びかけを行いました。

生産者からは、「今後は個人で農機を更新するのは難しい」など多くの意見が出されました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し、地域の農地・農業を守る仕組みづくりを進めていきます。

安芸のユズを今後どう盛り上げていくか ～若手生産者視察交流会の開催～



熱心に視察する若手生産者ら

6月26日、JA土佐あき柚子部畑山支部と東川支部の若手生産者12人が、篤農家への園地視察や今後の取組について意見交換会を行いました。

農業改良普及課からは、収穫時の労働力確保に関して、福祉分野との連携による障害者等の雇用について紹介しました。

生産者からは「生産者同士で積極的に繋がりを持つべきだ」などの意見もあり、有意義な交流会となりました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し、将来を担う若手生産者同士の交流活動を支援します。

ナスの省力化栽培に手応えあり!! ～奈半利支部園芸研究会勉強会～



熱心に聞く生産者

6月28日、奈半利支部園芸研究会がJA土佐あき奈半利支所で勉強会を開催し、生産者5人が参加しました。

農業改良普及課は、栽植本数によるナス省力化栽培実証ほにおいて、誘引や整枝などの管理作業時間を短縮できたこと、栽植本数を減らしても収量を維持できたことを説明しました。

実証した生産者からは「収穫の極端な山谷がなく、病気もほとんどなかった」という感想があり、他の生産者からは「病気が多い場所でやってみたい」といった前向きな意見が出ました。

農業改良普及課は、今後も部会活動や個別巡回を通じて省力化につながる栽培管理について指導します。

今作の反省を次作に繋げよう! ～安芸支部園芸部園芸研究会総合部会～



次作はもっと儲けるぞ～

6月29日、安芸支部園芸部園芸研究会が各品目部会合同の反省会を安芸集出荷場で開催し、生産者36人が参加しました。

農業改良普及課からは、各品目の分科会で、栽培管理、病害虫対策、農業技術センターや担い手育成センターの取組内容、GAPの取組等について説明しました。

ナス生産者からは「次作は温度と湿度の管理を見直してみよう」といった声があり、各品目とも次作に向けて新たに意欲を高めた様子でした。

農業改良普及課は、今後も部会活動や個別巡回を通じて、収量・品質向上に努めます。

来作に向けて頑張ろう!! ～試験展示ほ成績発表会～



実証結果を説明する普及指導員

7月10日、JA土佐あき園芸研究会がJA土佐あき本所で試験展示ほ成績発表会(参加者52人、うち生産者28人)を開催しました。

農業改良普及課は、環境制御技術や病害防除実証結果3事例を発表するとともに、営農指導員による事例発表の資料作成支援や高知工科大学の教授等を講師とするIoT・自動化に関する講演をコーディネートしました。

参加者からは、「次作も試験ハウスでの発病推移を調査して欲しい」等多くの質問や意見が出され、活発な情報交換ができました。

農業改良普及課は、実証結果を各地区の品目部会勉強会でも広く周知し、実証技術の実践を誘導します。